

2012年3月15日

財団法人 日本サッカー協会

2011年度 第11回理事会

協議事項

1.	2012年度 事業計画の件 (協議) 資料No.1
2.	2012年度 予算の件 (協議) 資料No.2
3.	フットサル日本代表スタッフの件 (協議) 資料No.3 フットサル日本代表のフィジカルコーチについて、以下の通りとしたい。 フィジカルコーチ：ホセ・エンリケ・イバニエス・ラモス (Jose Enrique Ibañez Ramos) 契約期間：2012年4月4日～6月3日 (AFC選手権終了まで)
4.	2011年度 公認S級コーチ養成講習会判定結果の件 全てのコースを修了し、筆記試験・口頭試験・指導実践・レポート全てにおいて合格したため以下の1名を公認S級コーチとして認定したい。 氏名：時岡 宏昌 (ときおか ひろまさ) 指導チーム：SAGAWA SHIGA FC 生年月日：1974年6月24日 資格：2006年 A級ライセンス 指導歴：2002年～2006年 佐川急便東京 SC コーチ 2007年～現在 SAGAWA SHIGA FC コーチ ※ 現S級コーチライセンス保持者数：348名 (上記1名含む) ※ 2011年度公認S級コーチ認定者数：3名/21名 (上記1名含む)
5.	第8回フットボールカンファレンスの件 47都道府県サッカー協会に開催希望を募り、(財)広島県サッカー協会及び(社)宮城県サッカー協会より開催希望があった。開催にあたり必要な要件(下記ご参照)を総合的に審査した結果、第8回開催地を、聖和学園高等学校サルナートホール(宮城県仙台市)としたい。 (1) 日程：2013年1月12日(土)・13日(日)・14日(月・祝) (2) 会場：聖和学園高等学校サルナートホール(宮城県仙台市) (3) 開催にあたり必要な要件 (最低必要要件) ① 国際会議場(大ホール1000席以上・小会議室7～10室)の確保 ② 国際会議場会場費の負担 ③ 運営スタッフの確保と人件費(日当・謝金)の負担(開催期間中約30名) (その他検討事項) ① ホテルの確保(海外ゲスト/関係者/参加者) ② 懇親会会場の確保(約1000名立食)

- ③ アクセスの良さ（会場⇄ホテル⇄主要駅・空港）
- ④ 自治体とのタイアップの可能性
- ⑤ 国際会議場の付帯設備状況

上記要件・検討事項をもとに候補地を視察し、審査を行った。

日本全国の指導者、世界各国の指導者が東北の地に集まり、復興支援の側面からも宮城県仙台市で開催することとしたい。

6. JFA国際ショナル・コーチング・コース 2012（AFC加盟協会向け）の件

アジア貢献事業の一環として、下記のユース育成・指導者養成コースを開催したい。

今回は、前回までのC級ライセンスコースから、ユース育成・指導者養成担当者向けのコースへと衣替えし、各国のサッカー発展のために必要不可欠な分野の支援を図る。

コース名：（第6回）JFA国際ショナル・コーチング・コース 2012（AFC加盟協会向け）

期 間： 2012年4月17日（火）～24日（火）

会 場： J-GREEN 堺

講 師： ナショナルコーチングスタッフ、ナショナルトレセンコーチ

募集人数： 25名（最大）

応募資格： ①AFC加盟協会にて、ユース育成・指導者養成に携わる、英語が堪能なダイレクターもしくは担当者

②各協会から最大2名が応募可能

費用負担： 日本までの国際航空券代は、参加協会または参加者が負担する。

日本国内移動費・宿泊費・食費はJFAが負担する。

備 考： 第1回は2006年3月13日～19日にJヴィレッジで開催し20名が参加。

第2回は2007年3月12日～18日にJヴィレッジで開催し20名が参加。

第3回は2008年4月19日～25日にJヴィレッジで開催し26名が参加。

第4回は2009年3月9日～15日にJヴィレッジで開催し19名が参加。

第5回は2010年2月27日～3月5日にJヴィレッジで開催し26名が参加。

7. 人工芝フィールド利用の件

（協議）資料No.4

人工芝フィールドの利用については、平成15年度第7回理事会において、JFA ロングパイル人工芝公認ピッチを公式試合において利用する場合の手順が承認されているが、競技会において利用する人工芝フィールドの要件については明確にされていないため、以下の通り定めたい。

本協会が主催する国内競技会において人工芝フィールドを利用する場合は、「FIFA サッカー芝品質コンセプト 認証フィールド」又は「JFA ロングパイル人工芝 公認ピッチ」であるものとし、各大会実施委員会、各種大会部会、各連盟にての協議を経て、理事会にて承認を得た上で、各大会の実施要項等に記載するものとする。

ただし、本協会主催の育成年代のリーグ戦における人工芝フィールドの利用については、この限りではない。

なお、本協会以外が主催する競技会においては、各主催者が人工芝フィールド利用の判断を行うものとする。

<p>※育成年代のリーグ戦を除外する理由： 育成年代（2種・3種・4種）のリーグ戦推進にあたり、学校等が所有する人工芝フィールドをホームアンドアウェイ形式の公式戦において積極的に活用できるようにするため。 （対象となるリーグ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高円宮杯 U-18 サッカーリーグ プレミアリーグ ・Jリーグ U-13
<p>8. 基本規程 改正の件</p>
<p>（協議）資料No.5</p> <p>2月9日に開催された2011年度第10回理事会において承認された基本規程改正について、別紙の通り、追加で改正したい。 なお、この追加改正箇所については、3月10日に開催された評議員会で承認済みである。</p>
<p>9. 公益財団法人への移行に伴う各種規程改正の件</p>
<p>（協議）資料No.6</p> <p>1月26日付で、内閣府公益認定等委員会の答申があり、公益財団法人への移行が内定した。 4月1日付の公益財団法人移行に向けて、以下の規程を改正したい。</p> <p>（1）改正する規程</p> <ul style="list-style-type: none"> ①裁定委員会規程 ②ユニフォーム規程 ③フットサル登録規程 ④ドーピング防止規程 ⑤選手エージェント規則 ⑥プロサッカー選手の契約、登録および移籍に関する規則 <p>（2）主な改正点</p> <ul style="list-style-type: none"> ①法人名を、財団法人日本サッカー協会から公益財団法人日本サッカー協会へ変更 ②施行日を、2012年4月1日に変更 ③基本規程の改正点を反映
<p>10. 2012年度国内競技会（女子）大会概要の件</p>
<p>（協議）資料No.8①②③</p> <p>2012年度国内競技会（女子）の大会概要を別紙の通りとしたい。 なお、第34回全日本女子サッカー選手権大会の日程については、以下の日程で開催し、天皇杯と同日・同会場にて行っていた決勝戦を単独開催としたい。</p> <p><第34回全日本女子サッカー選手権大会></p> <p>（日程）11月23日（金・祝）～12月24日（月・祝） （会場）調整中</p> <p>第1回戦： 11月23日（金・祝）、24日（土） 第2回戦： 12月1日（土）、2日（日） 第3回戦： 12月8日（土）、9日（日） 準々決勝戦：12月16日（日） 準決勝戦： 12月22日（土）</p>

決勝戦：	12月24日（月・祝）※単独開催
11. 天皇杯実施委員会 委員交代の件	
	<p>天皇杯全日本サッカー選手権大会実施委員を、以下の通り交代したい。</p> <p>(1) 地域選出実施委員（関西） 現) 山本 幸夫（兵庫） → 新) 藤縄 信夫（大阪）</p> <p>(2) Jリーグ担当実施委員 現) 実施委員（Jリーグ） 大森 洋次郎 → 新) 実施委員（Jリーグ） 村山 勉</p>
12. 第92回天皇杯全日本サッカー選手権大会 運営要項変更の件	
	<p>第92回天皇杯全日本サッカー選手権大会の大会運営要項について、以下の通り大会形式を変更したい。</p> <p>(変更前)</p> <p>第13条〔大会形式〕 シードチーム41チーム（J1：18、J2：20、JFL：2、大学：1）と都道府県代表47チームの合計88チームが出場し、1回戦ノックアウト方式による7回戦制トーナメントにて行われる。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>(変更後)</p> <p>第13条〔大会形式〕 シードチーム41チーム（J1：18、J2：22、JFL：1）と都道府県代表47チームの合計88チームが出場し、1回戦ノックアウト方式による7回戦制トーナメントにて行われる。</p>
13. 第92回天皇杯全日本サッカー選手権大会 日程変更の件	
	<p>第92回天皇杯全日本サッカー選手権大会の準々決勝につき、以下の日程に変更したい。</p> <p>変更前：12月22日（土）天皇杯 準々決勝 → 変更後：12月23日（日）天皇杯 準々決勝 <第92回天皇杯全日本サッカー選手権大会></p> <p>（日程）2012年9月1日（土）～2013年1月1日（火・祝）</p> <p>第1回戦： 9月1日（土）2日（日） 第2回戦： 9月8日（土）9日（日） 第3回戦： 10月10日（水） 第4回戦： 12月15日（土） 予備日19日（水）</p> <p style="text-align: right;">*FCWC 出場チームとその対戦チーム</p> <p>準々決勝戦： <u>12月23日（日）</u> 準決勝戦： 12月29日（土） 決勝戦： 1月1日（火・祝）</p>
14. JFA ロングパイル人工芝ピッチ公認（新規）の件	
	<p>（新規）</p> <p>1. 公認申請者：東京都文京区 施設名：文京区小石川運動場グラウンド 施設所有者：文京区長 成澤 廣修（なりさわ ひろのぶ） ロングパイル人工芝：ハイブリッドターフ（ET-62HP） / 住友ゴム工業㈱ 公認期間：2012年3月15日～2015年3月14日</p>

公 認 番 号 : 第118号

<特記事項>

- ◆ ハイブリッドターフ (ET-62HP) / 住友ゴム工業(株)は製品検査 (ラボテスト) を完了し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。
- ◆ 公認規程に基づき2回の検査 (フィールドテスト) を実施し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。

2. 公 認 申 請 者 : 東京都清瀬市

施 設 名 : 清瀬市立下宿第三運動公園サッカー場

施 設 所 有 者 : 清瀬市長 渋谷 金太郎 (しぶや きんたろう)

ロングパイル人工芝 : アストロピッチSL (ProN-50 XC10) / (株)アストロ

公 認 期 間 : 2012年3月15日~2015年3月14日

公 認 番 号 : 第119号

<特記事項>

- ◆ アストロピッチ SL (ProN-50 XC10) / (株)アストロは製品検査 (ラボテスト) を完了し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。
- ◆ 公認規程に基づき2回の検査 (フィールドテスト) を実施し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。

15. 審判指導者契約の件

(協議) 資料No.9

次の3名の審判指導者と契約を更新したい。

① 黛 俊行 (まゆずみ としゆき)

役職 : レフェリー・インストラクター (育成担当)

期間 : 2012年4月1日~2014年3月31日

業務 : 国内の審判員の強化・育成に関する指導

② 石山 昇 (いしやま のぼる)

役職 : レフェリーカレッジ カレッジインストラクター

期間 : 2012年4月1日~2014年3月31日

業務 : レフェリーカレッジ生の育成・強化

③ 鈴木 亮哉 (すずき ふさや)

役職 : 審判トレセン チーフダイレクター

期間 : 2012年4月1日~2013年3月31日

業務 : ・審判トレーニングセンターにおける指導、指導教材作成
・審判トレーニングセンターにおける運営に関する業務

16. 都道府県審判トレーニングセンター (女子) の開催の件

都道府県審判トレーニングセンター (女子) について、以下の通り開催したい。

<目 的>なでしこジャパンの活躍により注目が高まる中、女子サッカーに対する様々な

取り組みが推進されているが、選手同様、女子審判員の取り巻く環境改善やレベルアップに着手する必要がある。

その手段のひとつとして、都道府県協会と連携し、女性審判員の「普及」および「育成」を目的に、競技規則の解釈、審判技術等の提供を行う。

※女子審判員登録数 8,698 名、男子審判員の 4% (2012 年 2 月 29 日現在)

<期 間>2012 年 4 月～2013 年 3 月

<場 所>47 都道府県

<参加者>原則 3 級/4 級審判員

17. FUTURO III Refereeing Course 開催の件

FUTURO III Refereeing Course について、以下の通り開催したい。

<目 的>FIFA は様々なインストラクターを対象に FUTURO III Course を開催している。

このうち審判に関わる FUTURO III Refereeing Course を毎年、東アジア MA を対象に開催している。

日本はこれまで 2007 年 6 月に J ヴィレッジで開催しているが、ある程度年数がたったこともあり、本年での開催を求められていた。

ついでに、次により当該コースを主管し、東アジアの審判レベルアップに寄与するとともに、日本の審判インストラクターを多く参加させることで競技規則解釈等についての知識を深めることとしたい。

<期 間>9 月 24 日～29 日

<場 所>現在調整中

<参加者>AFC 加盟協会・連盟の関係者

<費 用>FIFA：派遣講師の渡航費・謝金、参加者の滞在費・コース開催の施設使用料他
JFA：FIFA 派遣講師の国内移動費、コース開催に要する FIFA 負担以外の経費

<実 績>

開催年月	開催場所	日本からの参加者
2005 年 5 月	チャイニーズタイペイ	松崎康弘、小川佳実
2006 年 2 月	スイス	松崎康弘
2007 年 6 月	日本	松崎康弘、小幡真一郎、太田 潔、石山 昇
2008 年 9 月	中国	石山 昇
2009 年 9 月	韓国	石山 昇、廣嶋禎数、長田和久
2010 年 9 月	香港	松崎康弘、山岸昂司、唐木田 徹、長田和久
2011 年 8 月	中国	松崎康弘、谷内浩仁、岡田正義、田邊宏司

18. 審判交流プログラムの件

以下の通り、各国 FA と審判員交流を図ることとしたい。

<交流国>イングランド、中国、パラグアイ

<目 的>相互派遣や招聘等、2008 年より行ってきた交流プログラムを継続し、審判員や審判インストラクターの更なる資質向上の機会とする。

<実 績>

年	交流国	内容
2008	ポーランド	派遣：主審 1 名・副審 2 名 国際親善試合・リーグ
		招聘：主審 1 名・副審 2 名 国際親善試合・J リーグ
	韓国	招聘：主審 1 名・副審 2 名 JFL
2009	ポーランド	派遣：主審 1 名・副審 2 名 国際親善試合・リーグ

			招聘：主審1名・副審2名 国際親善試合・Jリーグ・天皇杯
2010	オーストラリア		派遣：主審1名・副審2名・インストラクター1名 Wリーグ
			招聘：主審1名・副審2名 なでしこリーグ
	イングランド		派遣：主審2名・国際親善試合、カップ戦
			招聘：主審2名 Jリーグ・スルガ銀行チャンピオンシップ
	ポーランド		派遣：主審1名・副審2名 リーグ
			招聘：主審1名・副審2名 国際親善試合・Jリーグ・天皇杯
2011	中国		派遣：インストラクター1名・主審2名 女子スーパーリーグ
			招聘：インストラクター1名・主審2名 研修会
	イングランド		派遣：主審2名 国際親善試合・FAカップ
			招聘①：主審2名 Jリーグ・スルガ銀行チャンピオンシップ

19. プレジデント・ミッション(PHQ) 関連事項

(1) 2012年度「47FA公益目的事業等活動支援金」の交付について

① 2012年度「47FA公益目的事業等活動支援金」を別紙のとおり決定したい。

(協議) 資料No.10①②

(2) 2012年度 各種支援制度の対象協会について

① M5:エリート養成システムの確立【2012年度支援制度(エリート)】

(協議) 資料No.11

② M8:リーグ戦の推進と競技会の整備・充実【2012年度支援制度(リーグ戦)】

(協議) 資料No.12

(3) 都道府県フットボールセンター整備推進事業について

「都道府県フットボールセンター整備助成事業 助成金交付要項」第7条の規定に基づき、次のとおり、助成金交付を決定したい。

① 助成金交付申請書の受理

本年度 第8回理事会(2011年12月8日)及び第10回理事会(2012年2月9日)にて交付の内示を決定した2012年度の12件の案件につき、正式な交付申請書の提出を受けた。

② 助成金交付の決定

別紙資料のとおり、交付を決定したい。

(協議) 資料No.13①②